

ワーク・ライフ変革推進室

トークイベント「理工系職員が語る私の仕事と生活」

◆ ワーク・ライフ変革推進室って？

ワーク・ライフ変革推進室は平成28年4月にJAXAに設置されました。様々な人が能力を発揮し、高い目標に挑戦し、成果を創出する組織へ変革することで、職員1人1人の労働生産性の向上を目指しています。

男女がともに尊重し合い、それぞれの職員が能力を十分に発揮できる環境をつくり、宇宙航空分野の活力を一層高めることを目指しています。

◆ どんな取り組みをしているの？

JAXAでは平成25年10月から平成28年3月まで「男女共同参画推進室」を設置して、女性研究者の活躍に取り組んできました。ワーク・ライフ変革推進室は、男女共同参画推進室の取組を継承して女性の活躍推進に取り組むとともに、全ての職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けて、働きやすい職場環境を整えることを目指して主に以下の取組を推進しています。

【女性活躍推進に関するこ】

- ・職員向けの意識改革セミナーや、子育てや介護等と仕事の両立支援のための交流会やセミナーの開催
- ・キャリア形成のためのメンター制度の導入
- ・JAXA女性研究者（ロールモデル）の紹介 等

【職員の働き方変革に関するこ】

- ・IT・オフィス環境の整備による時間と場所に縛られない働き方変革の検討
- ・会議や業務の合理化による働き方の改善と残業の削減 等

◆ 室長から一言

ワーク・ライフ変革推進室 室長・向井 浩子

特別公開に来て下さったみなさま

JAXAのプロジェクトの成果や失敗は大きくテレビや新聞に取り上げられますが、個々の職員がどんな研究をしているかはイメージしにくいのではないか。トークイベントでは、研究内容を直接聞いていただくとともに、職場の雰囲気も理解いただくために「イクボス」の座談会も企画しました。

特に学生のみなさん、そして保護者の方、JAXAは完璧な職場ではありません。まだまだ変革しなければいけないところが沢山あります。しかし、10年前より、5年前より、確実に良くなっています。

生き生きした先輩の姿を見て、理工系であれ文系であれ、なりたい自分の姿が浮かんで来れば幸いです。



◆ 女性活躍推進法とJAXAの取り組み

平成27年8月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が制定されました。

女性が個性と能力を十分に発揮し、活躍するためにJAXAでは以下の行動計画を立て取り組んでいます。

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

（平成28年4月1日～平成30年3月31日）

【目標】

- ・管理職に占める女性割合を11%以上にする。
- ・役員等意思決定のできる役職に女性の登用を1名以上行う。
- ・教授への女性の採用を1名以上行う。
- ・平均残業時間を3割削減する。

【取組内容】

- ・女性自身が安心してキャリア形成でき、管理職として活躍できる支援体制の構築
- ・総労働時間削減を実現するための制度と環境の整備
- ・ワーク・ライフ・バランスに向けた意識改革

次世代育成推進法に基づく一般事業主行動計画

（平成29年5月1日～平成31年4月30日）

【目標】

- ・計画期間内に、年度に発給された年次有給休暇と夏季特別休暇の合計日数の60%以上、及び職員の配偶者の出産に関する3日以上の特別休暇を80%以上取得できるよう休暇取得を促進する。
- ・育児支援制度の柔軟な運用など育児環境の一層の改善を図る。
- ・ワーク・ライフ・バランスについて職員の理解を深め、それを支援する諸制度周知徹底と利用促進を図る。

JAXAの女性の活躍の状況（平成28年2月時点）

- ◆管理職に占める女性労働者の割合：7.2%
- ◆採用した労働者に占める女性労働者の割合：22.0%
- ◆男女の平均継続勤務年数の差異：74.9%

◆ 次世代キャリア支援

JAXAワーク・ライフ変革推進室では次世代キャリア支援として、中高生・大学生・大学院生を対象に、交流イベントなどを通じて、女子学生のキャリアへのチャレンジを支援しています。

また、内閣府男女共同参画局の「理工チャレンジ」（通称リコチャレ）に参加し、女子学生の理工系分野の選択を応援しています。



◆もっと詳しく知りたい人のために
ワーク・ライフ変革推進室ホームページ
<http://stage.tksc.jaxa.jp/geoffice/index.html>

トークイベント

「理工系職員が語る私の仕事と生活」

～理工系職員が自身の仕事・生活・キャリアについて語ります。

進路選択・職業選択の参考にどうぞ～

日時：8/25(金) ①12:15-13:00 / ②13:15-13:45

8/26(土) ③12:05-12:35 / ④12:45-13:15 / ⑤13:25-13:55

場所：研究管理棟1階 1134会議室



JAXAワーク・ライフ変革推進室は内閣府男女共同参画局の「理工チャレンジ」に参加し、女子学生の理工系分野の選択を応援しています。

8/25(金) 登壇者紹介

(各回冒頭) ワーク・ライフ変革推進室活動紹介 ワーク・ライフ変革推進室室長 向井 浩子 (むかい ひろこ)

① 12:15-13:00 「イクボス」座談会



向井 浩子 (むかい ひろこ) 評価・監査部部長 / ワーク・ライフ変革推進室室長

1987年宇宙開発事業団入社。ロケットや人工衛星の発注契約、財務諸表の作成等に携わる。

現在は、評価・監査部長としてJAXAの独法評価や内部監査業務と共に、働き方変革と女性活躍を推進。



前島 弘則 (まえじま ひろのり) ISAS宇宙科学プログラムディレクタ付

修士課程修了後、1991年NASDA就職。地球観測センター、環境観測技術衛星、省庁出向等を経て、月周回衛星、BepiColomboなどのISAS衛星／探査機のプロジェクトマネジメントを行う。



竹島 敏明 (たけしま としあき) ISAS科学衛星運用・データ利用ユニット ユニット長

理化学研究所、NASAゴダード宇宙飛行センターでのポスドク生活の後、2000年よりNASDA/JAXAでの地球観測衛星 地上システム開発に従事。2015年より宇宙科学研究所勤務。片道2時間半強の長距離通勤のなか、多数の育児中の部下を抱え、部署のワークライフバランスに苦慮する日々。



坂井 真一郎 (さかい しんいちろう) ISAS宇宙機応用工学研究系准教授

2001年より宇宙科学研究所勤務。制御工学を背景として宇宙機の姿勢制御・航法誘導制御に関する研究を行い、科学衛星姿勢制御系の開発に従事。2016年より SLIMプロジェクトマネージャを務めている。7歳の息子と5歳の娘あり、共働き。

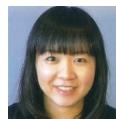
【司会】



橋本 樹明 (はしもと たつあき) ISAS宇宙機応用工学研究系教授 / ワーク・ライフ変革推進室協力員

1990年より宇宙科学研究所勤務。現在、超小型月探査機プロジェクトのチーム長を務める。19歳の息子と9歳の娘の父。

② 13:15-13:45 吉野 良子 (よしの りょうこ)



科学衛星運用・データ利用ユニット

ISASでの大学院生活を経て、2010年JAXAに就職。入社後は地球観測衛星を担当。現在は宇宙科学データのアーカイブに携わる。

8/26(土) 登壇者紹介

(各回冒頭) ワーク・ライフ変革推進室活動紹介 ワーク・ライフ変革推進室副室長 青田 知恵 (あおた ちえ)

③ 12:05-12:35 尾川 順子 (おがわ なおこ)



宇宙科学プログラム室 / はやぶさ2プロジェクトチーム、宇宙探査イノベーションハブ併任

博士課程、ポスドクを経て2013年JAXA就職。宇宙科学プロジェクト支援や宇宙探査機「はやぶさ2」等の開発・運用に携わる。

④ 12:45-13:15 長谷川 晃子 (はせがわ あきこ)



科学衛星運用・データ利用ユニット

2007年JAXA就職。各科学衛星の運用調整を支え続けて数年。現在は、科学衛星運用ネットワーク、伝送にも携わる。

⑤ 13:25-13:55 大竹 真紀子 (おおたけ まきこ)



ISAS太陽系科学研究系助教

月周回衛星「かぐや」観測機器開発を経て、現在、月科学研究、将来の月惑星探査に向けた検討、「かぐや」データ校正処理、「はやぶさ2」機器開発に携わる。